

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Risk factors of drain management after distal pancreatectomy for pancreatic ductal adenocarcinoma (原発性膵癌に対する膵体尾部切除術後のドレーン管理についての検討)
	研究目的	膵切除は周術期管理法や合併症治療が進歩したことにより安全性が向上しているものの、膵液瘻 (POPF) は依然治療経過や予後に影響を及ぼす重大な合併症である。POPF に対する治療については術後ドレーン管理が重要であるが、適切なドレーン管理の方法についての検討ははまだ十分ではない。以上より、今回我々は、膵体尾部切除術後のドレーン管理に関する検討を行う。
	研究対象者	2013年1月から2020年12月までに当院で膵癌と診断され、膵体尾部切除術を施行した患者。
	研究期間	西暦 2022年1月6日～西暦 2022年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	上岡祐人
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし